

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取西高等学校

重点項目	大学進学	提出日	平成31年2月14日
------	------	-----	------------

1 学校目標
「深い学び」「幅広い学び」による高い進路目標の実現 ～探究的な学びの充実と高大接続改革への対応～
2 重点項目に係る目標
1 学校目標達成のための平成31年度重点目標 ○学問の奥深さに触れ、深く学ぶことの喜びを実感できる授業を研究・実践する。 ○「大学進学重点校」として生徒の高い進路目標を実現するための施策を徹底する。 ○生徒の良識を培い、社会性を高めるための指導を推進する。 ○学習と部活の両立を支援し、スポーツ・文化芸術活動の充実を図る。 ○「グローバル教育」の一層の発展とSGH事業（最終年度）の成果の普及を図る。 <数値目標> ○大学合格者数 国公立大学230名、難関10大学・医学科60名（学年生徒数280名） （平成29年度実績 国公立大学207名、難関10大学・医学科40名（学年生徒数320名）） ○卒業時における生徒の4技能の総合的な英語力としてCEFRのB1～B2レベルの生徒の割合15% （平成30年度実績CEFRのB1～B2レベル：22名（学年生徒数280名）7.9パーセント）
3 事業計画（事業名、事業概要）
【高等学校課事業】 ○21世紀型能力を育むための講師派遣事業 ①「ESD（持続可能な開発のための教育）推進」をテーマにした校内授業研究会 SGH事業の充実に向け、昨年度の中間評価で浮かび上がった課題として、課題研究のテーマ設定を焦点化し、ESD研究による「持続可能な開発のための教育」作りをテーマにして、探究活動を深化させ、その評価方法の改善に努める。 ②英語ディベート活動に関する教職員研修会 高大接続改革に対応するため、生徒が英語をツールとして議論や交渉をできる能力を養成するよう努める。合わせて、大学入学共通テストで必要とされる英語検定試験、スピーキングテストに対応できる能力を育てる。 【独自事業】 特徴的な取り組み ①探究的教科指導の取り組み 協同的な手法を取り入れた授業展開が定着してきたが、さらに思考力や表現力を高めるための探究的な授業の研究・実践を推進する。高大接続改革による大学の個別選抜への対応も進める。 ②ESD（持続可能な開発のための教育）による課題探究活動の推進 ESDをテーマに課題研究を行い、それをSCoPA国際会議（パリ協定に関する国際会議）、ユネスコスクール全国大会等の国際セミナーで発表できるグローバル人材の育成を目指す。そのため、実践的かつ高度な英語活用能力の育成を目指し、高大接続改革に対応した実用的な英語指導の充実を図る。

③キャリア学習の推進

- ・キャリア教育講演会・・・高大接続改革に対応するため学年別進路講演会（生徒・保護者希望者対象）を開催し、学校と家庭の連携を強化する。
- ・ハイレベルセミナー・・・大学の研究者・大学院生等を招き、学問の魅力や研究の最前線を学ぶ。学問の奥深さに触れることで、生徒の高い志を育む。

※枚数任意